

令和3年度 青年部活動報告書(令和3年.4～令和4年.3)

ブロック名 九州ブロック

全青会理事提出日

報告日：7月10日

第1回 令和3年7月10日

報告者：馬場

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
大分県	4月23日	第1回青年部役員会・総会打ち合わせ・近況報告等 コロナ感染症拡大により対面総会中止。書面にて決議を行った。
	5月24日	
佐賀県	5月18日	第1回役員会を実施。 今年度の通常総会について実施方法も含めてWEBで会議を行った。 第29回通常総会を実施。 WEB会議で行った。無事全ての議案について可決された。
	6月9日	
宮崎県	5月7日	第一回幹事会 令和3年度 通常総会(書面決議)
	5月19日	
鹿児島県	4月27日	第1回役員会 第28回通常総会 書面議決にて 全ての議案について承認可決 第2回役員会
	5月18日	
	6月22日	
沖縄県	4月13日	青年部営業部会(受注物件の報告及び工場山積状況の報告) 青年部営業部会(受注物件の報告及び工場山積状況の報告) 青年部営業部会(受注物件の報告及び工場山積状況の報告)
	5月18日	
	6月8日	
長崎県	4月21日	令和3年度 3地区会長(南地区) WEB会議 令和3年度長崎県青年部第1回役員会 令和3年度長崎県青年部会通常総会
	5月14日	
	6月29日	
福岡県	5月	緊急事態宣言を考慮して通常総会を書面決議にて実施

2. ブロックの活動報告

年月日	内容	
5月11日	第1回九州ブロック会役員会(WEB)	第1回役員会
6月16日	第2回九州ブロック会役員会(WEB)	BC通常総会
6月16日	九州ブロック会通常総会(WEB)	
		
		

3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内容
佐賀県	毎年11月頃合同事業を行っており、具体的にはまだ何をするのか決まっていないが今年度も行う予定。昨年はコロナの影響でWEBで意見交換会を行ったが、今年度も状況改善見通しが立たない場合はWEB上で行う。
鹿児島県	10月にJSCA鹿児島地区会と対面またはWebでの交流事業開催予定

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内 容
大分県	<p>Hグレードは、7月以降の山は見えているが、Mグレード以下は、3か月～年内までの企業がありばらつきがある。</p> <p>鋼板関係(PL,BH,BCP)の入手が厳しくなっており、設計図の出図と材料手配、現場工程と合わなくなってきた。ボルト関係についても、メーカー予測に反し、受注が増えているため、在庫が少なくなってきたとの事なので注視する必要がある。</p> <p>また、設計図が粗く納まっていないため、質疑事項が多く、回答も遅いため、図面の決定が遅れている。コロナ感染対策によりWEB会議回数が増えているが、熱量が伝わらないこともあり中々うまくいかない。材料の値上げにより加工費が圧迫してくると思うので、自社の原価をよく把握し、受注につなげるように呼び掛けたい。</p>
佐賀県	<p>コロナの影響で仕事量が十分に確保できていない工場もあり、厳しい状況が続いている。また、鋼価格の上昇や一部鋼板の品薄が心配され今後の見通しはあまり明るくない。</p>
宮崎県	<p>見積件数は増えたが鋼材単価の高騰が止まらず、反して工事単価は下落している為、価格設定が非常に難しい。</p> <p>各社の手持ち工事量は昨年と比べるとやはり落ちてきている。稼働率もMグレード以下は100%を切っている状況が長く続いているが、見積件数が増えた分、夏以降の回復に期待したい。</p>
鹿児島県	<p>公共工事では学校の渡り廊下等出ている状況。</p> <p>民間はこれから先出そうな気配、しかし鋼材、ボルト等の値上がり、工事建て方へのしわ寄せ見積り時と発注時の値上がりによるゼネコンとの対応に苦難する恐れが出てきそうです。</p>
沖縄県	<p>6月に入り公共工事の案件がある程度発注になり、見積は公共工事を中心に出ている状況です。</p> <p>各FAB図面承認や工程の遅れで工場稼働率が70%を切るFABもありますので経営状況一層厳しくなりそうです。</p> <p>全国と同様鋼材の高騰とコラムを中心に入手困難な状況陥り、工事の予定が立たなくなっております。</p>
長崎県	<p>Hグレード:8月から年末にかけて山が高く、来年の春先までは仕事量を確保。</p> <p>M、Rグレード:各社ばらつきが激しく、10月までは山が高い会社もあれば、山谷の連続というような会社もある。全体的に今年いっぱい、そこそこ仕事量は確保出来そうな感じ</p> <p>全体的に、見積物件は多いが単価が厳しい、工期とコラムの段取りに苦戦、ボルトの納期も3ヶ月</p>
福岡県	<p>手持ち工事量はバラつきがあるものの秋口までは確保できている模様。</p> <p>単価は引き続き値下げ傾向にある。</p> <p>鋼材価格の上昇が凄いため見積金額にバラつきがでている。</p> <p>鋼材の手配が難しくなっており、工事の受注残よりも鋼材納期の方が長くなってきている。</p> <p>※この報告書は全国配信しますの個人情報や誤報となるものの記載はお控えください。</p>